

# 教育特集

# 教育現場の現状と将来

- ①設立年月日
- ②卒業生数、在校生数
- ③カリキュラム
- ④教育方針
- ⑤この1年間の自校の変化
- ⑥昨年度就職状況、今年度就職展望
- ⑦今後の教育展望

多様性によって働き方から学ぶスタイルにまで、様々な変化が起きている。

溢れる情報を判断できる知識や学びが必要だが、学ぶ前に簡単に儲けられる社会において、学びたくなくなる魅力あふれる業界でなければ、次世代の若者はそこに希望を抱かない。

特に専門知識の多い業界では、専門教育機関の果たす役割は大きい。業界人による継続した学びも必要になってきている。

業界関連の教育機関に、現在の状況、変化への対応、そして今後の見通しを聞いた。

## 東京眼鏡専門学校

### 実践的な眼鏡技術者を養成



①昭和43年4月。平成12年に日本眼鏡専門学校と早稲田眼鏡専門学校が合併して開校。平成16年に校名を東京眼鏡専門学校に変更。

②卒業生6769人(全日制4092人、通信教育2597人、ケチャム通信80人)。在校生451人。

③英会話、心理学、人体のしくみ、光学入門、光サイエンス、眼鏡光学、光学機器、眼科学、薬理学、眼のしくみ、屈折測定論、両目視機能検査、眼鏡製作・調整、フィッティング実習、コンタクトレンズ、流通論概論、眼鏡店経営、眼鏡店マネジメント、メガネとファッション、カラーコーディネート、人間工学、プロダクトデザインの基礎、手作りメガネ工房、学内実習、学外学習など。

修学旅行(国内・必須)=フレーム・レンズ工場見学。

④実践的な眼鏡技術者・眼鏡店経営能力者の育成と人格面での形成を目指す。

▽3年制カリキュラムと少人数制の授業▽外部の眼鏡店等でのインターン制度により、実践力を強化▽クラスアドバイザーによるきめ細やかな勉強・生活指導▽ガイダンスや企業研究など万全の就職指導。

⑤2020年度より通信教育において、ビデオ受講を多数取り入れ、従来のスクーリングと併用して、より受講しやすい形をとった。

⑥2021年度の就職希望者はほぼ全員就職した。

2022年度は昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響により、求人数は引き続き厳しい状況が続いている。

⑦専門学校卒業生の強みである実践力を増々強化し、即戦力の眼鏡技術者を養成したい。

▽学生の教育水準を引き上げ、実践的な技術者を輩出する▽国家検定資格「眼鏡作製技能士」の取得を目的とする教育を目指している。

昨年11月に、総勢6,089名のメガネの国家検定資格「眼鏡作製技能士」が誕生した。

さらに、眼鏡作製技能士と眼鏡作製技能士が在籍する小売店を国民に広く認知、啓蒙する業界団体として「一般社団法人日本メガネ協会」が設立され、現在



### 眼鏡作製技能士が在籍する小売店を国民に広く啓蒙していく

#### 日本メガネ協会が会員募集中

会員には、眼鏡作製技能士会員、小売店会員、賛助会員の3種類あり、今回に限り、技能士会員の年会費は無料となっている。募集期間は2022年11月16日～2023年2月28日まで。

眼鏡作製技能士会員①氏名、在籍企業名、顔写真や得意分野等の個人プロフィールをポータルサイトで紹介。②リカレント教育(生涯教育)を受講し、理解度確認後、上級レベルを表す認証(専用バッジや認証)を貸与。またリカレント教育(WEB形式)は、原則永年無料で受講できる(一部有料)。

③年数の経過とともに、ポータルサイトを通じて寄せられる口コミにより、評判の良い眼鏡作製技能士として評価や知名度が高まる。年会費=7,000円/人(3年毎に更新、更新料は3,000円)。

小売店会員①眼鏡作製技能士が在籍する店舗名をポータルサイトで紹介。②有資格者が在籍することを表示する各種販促物の提供を受けられる。

③将来、眼科医から推奨店に指名された場合、集客や信頼度UPが期待できる。④リカレント教育に要望や評価を行使できる。年会費=5,000円/有資格者(在籍1店舗、ポランクリーチェーンや組合単位の加入もできる)。

賛助会員①ポータルサイトで

業・団体・個人名が公開され、認知度やイメージがUP。②リカレント教育やその活動に参画でき、ビジネス上でもメリットを期待できる。年会費=企業・団体50,000円/口、個人5,000円/口。

眼鏡作製技能士の指定試験機関を担うのは、公益社団法人日本眼鏡技術者協会であり、眼鏡関連では唯一の内閣総理大臣認定の公益団体となる。

同協会は、眼鏡業界の技能水準向上のために、確かな知識と技能で、最適・快適な眼鏡を提供する眼鏡のスペシャリスト「眼鏡作製技能士」の認定を行っていく。

なお、一般社団法人日本メガネ協会より一般消費者向けホームページが立ち上げられ、「眼鏡作製技能士」初級一般消費者向け公式サイト「かけごころ」では、「眼鏡作製技能士」についての解説や紹介、また「眼鏡作製技能士」が提供する知識や技能について、一般消費者向け、わかりやすく解説している。https://kakegokochi.com/。

第二回の国家検定試験は2023年5月17日(1級・2級)に学科、8月に実技を予定している(学科試験合格者のみ対象)。

申込期間は、学科:2022年12月1日～2023年2月28日。実技:2023年6月1日～30日となっている。

受付方法は、インターネット等。申込は個人と団体の2種類。

会場は全国8会場を予定。詳細は公式サイトで確認を(https://www.megane-joa.net/)。

## GIAは2025年までにレポートを完全デジタル化

GIA(米国宝石学会)は、2025年までにすべてのレポートを、紙形式からデジタル形式による発行へ転換することを発表。2023年1月よりデジタルGIAダイヤモンドドシエの発行を開始する。

2025年までにすべてのGIAレポートをデジタル形式に転換することで、毎年20トン(2万kg)の紙と18.5トン(1.85万kg)のプラスチックを節約し、輸送関連の二酸化炭素排出を削減することができる。

また、新しいデジタルレポートは、フルリニューアルしたGIAアプリ上で、従来と同じく信頼のおけるダイヤモンド

情報を、従来より更に安全で便利なフォーマットで提供する。ダイヤモンド情報の検索・閲覧・保存・送信が可能となり、GIAレポートの利用はこれまで以上に安全で便利に、これまでになかったダイヤモンド体験が可能になるとしている。

社長兼CEOのスーザン・ジャック氏は、「GIAのデジタルレポートは、我々の数十年にわたるイノベーションの上に構築され、ミッションである消費者保護の側面をさらに推し進めます。この重要な変革により、GIAは消費者の皆様に、まさに現代的かつ魅力的な体験を提供し、同時に、より持続可能な未来に向けた業界の発展に貢献することが可能になりました」と述べている。

国際的アート見本市「アートフェア東京」が、2023年3月10日～12日(9日は招待日)に東京国際フォーラムで開催される。

17回目となる同フェアは、引き続き活況な日本アート市場を背景に、144軒のギャラリーが一堂に会す。

内外の人の移動がコロナ前の状態に急速に回復するなかで、同フェアの開催も2021、2022年とも回復の方向にあり、各国のギャラリーが国をまたいで出展に踏み出すなど、徐々に以前の活気を取り戻している状況だ。

2020年の中止以降、来場人数制

日本最大級の国際的なアートフェア「アートフェア東京」が、2023年3月10日～12日(9日は招待日)に東京国際フォーラムで開催される。

2023年は、日本最大級のアートフェアとして、長い美術史のなかでさまざまなジャンルの作品を生み出してきた日本独自のアートシーンの卓越性ととともに、「多様性(Diversity)」という世界のアートマーケットのトレンドを体験する場となる。そのなかで日本のアートマーケットが継続性を保持しながらいかに「変動(change)」をしていくかを、会場で直に感じたい。

パリュエンスホールディングス(株)は、2022年10月に国内リユース企業初となる「The Fashion Pact(ファッション協定)」に加盟。日本企業としては2社目となった。

同グループは2011年の設立以来、リユース企業初となるファッション協定に加盟したパリュエンスホールディングスで販売する大半の商品タグや商品情報に、二酸化炭素排出量や水使用の削減量を記載している。

今回の「The Fashion Pact」への加盟により、ビジネスの中核であるリユース事業のさらなる推進はもちろんのこと、社会的課題と向き合い、国内外におけるサーキュラーエコノミー拡大に向けて活動を強化していく。

減炭量を算定し「ResaleImpact」として公開。またこれを皮切りに2022年5月以降、ヴィンテージ・ブランドショップ(協定)に加盟。日本企業としては2社目となった。

同グループは2011年の設立以来、リユース企業初となるファッション協定に加盟したパリュエンスホールディングスで販売する大半の商品タグや商品情報に、二酸化炭素排出量や水使用の削減量を記載している。

今回の「The Fashion Pact」への加盟により、ビジネスの中核であるリユース事業のさらなる推進はもちろんのこと、社会的課題と向き合い、国内外におけるサーキュラーエコノミー拡大に向けて活動を強化していく。

アイプリモが広州2店舗目

アイプリモが中国・広州に2店舗目を12月15日にオープン。中国本土事業においては23店舗目となった。

日本ブランドの高品質商品への信頼感が高く、平均購買価格は日本と比べて高い。実際に見て手に取ってほしいという需要も高いため1級都市である広州市に2店舗を目決めた。海外売上比率は4割を超えている。

成する日本発の医療系ベンチャーキャピタルファンド「DMC(Diamond Medical Capital)1号投資事業有限責任組合」へ出資したことを発表。現役の医学部教授が代表を務める医療系ベンチャーキャピタルファンドの設立は日本で初めての試み。田中貴金属工業は今回の出資を通じて、日本国内の医療・ヘルスケア業界の技術発展に貢献していく。

■愛眼は2025年までに全店舗在籍を目指す

メガネ・補聴器を販売する「メガネの愛眼」を運営する愛眼(株)は、2025年までに国家検定資格「眼鏡作製技能士」取得者の全店在籍を目指すことを12月9日付で発表した。

同社では、「お客様の目を大切に考え、目の健康を守る」こと、眼精疲労の少ない「快適な視力補正」を顧客に提供すること、ファッションや生活シーンに合わせてメガネを着替えるオシャレの楽しさに気づいてもらうこと、これら

を社会的な使命と責任と捉え、眼鏡専門店として高い技術力や知識の向上に努めている。

その教育の一環として、新設された国家検定資格「眼鏡作製技能士」の取得に取り組み、128名のスタッフが合格した。2025年までに全店舗に1名以上、資格取得者が在籍するよう目指している。

■JINSが従業員500名の取得を目指し社内教育機関を設立

また、今年の2月にはJINSが2024

年までに500名の従業員が「眼鏡作製技能士」を取得することを目指し、資格取得を目的とした社内教育機関「JINS Academy」の設立及び従業員への教育研修を担当しているトレーナー職などの従業員に対する外部眼鏡専門学校への就学支援の2つのサポート体制を開始したことが発表されている。

同社は、「Magnify Life=人々の生活を拡大し、豊かにする」というビジョンを掲げ、これまでも顧客に満足してもらう店舗運営と、従業員の接客レベルの向上に努めてきた。今回の国家資格新設を受け、資格取得者を社内で育

成し国内の全452店舗(2022年1月末時点)に配置することで、これまで以上に安心かつ満足度の高いサービスの提供が可能になると考える。また、高い能力を持つ人材資源の開発に注力することは、個人の活躍の場を拡げることにもつながり、JINSの持続可能な成長や、社会のダイバーシティ&インクルージョンにもつながる。そこで同社では、2023年の内に計150名、2024年の内に計500名の従業員が国家資格を取得することを目指し、どこよりも充実した教育体制を整えた。

### 宝石の鑑定・鑑別

ダイヤモンド・ジュエリー

東京 TEL. 03(3832)2432 FAX. 03(3832)2439  
名古屋 TEL. 052(732)0580 FAX. 052(732)0622

大阪 TEL. 06(6253)1436 FAX. 06(6253)1430  
福岡 TEL. 092(414)6065 FAX. 092(413)7717

## 目指す資格は「眼鏡作製技能士」!

### 国家検定資格

【眼鏡技術者への第一歩は全日制で】  
●第一眼鏡学科(高校卒)=3年制  
●第二眼鏡学科(短大・大卒)=2年制

【社員のレベルアップは通信教育で】  
春コース(4月開講)=2年制  
秋コース(10月開講)=2年制  
通信教育科目履修制度スタートします。  
詳細はHPよりご確認ください。

学生募集中!

学校法人 東京眼鏡学園(東京都認可専修学校)  
**東京眼鏡専門学校**

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-26-10  
TEL. (03)3360-7046 FAX. (03)3360-7143  
http://www.toc.ac.jp

accredo  
ネットでデザインできる  
オーダーメイド「アクレド」

株式会社 **ホッタ** ウォッチ&ジュエリー事業部  
〒104-0045 東京都中央区築地5-6-4 TEL. 03-5148-2173

ジュエリー・タウンおかもちの  
色石・ダイヤ ルース専門店

売れ筋、レアストーンなどを在庫豊富!  
メレサイズ 0.9mm ~ 石合わせはセレナで!

〒110-0005 東京都台東区上野5-22-1 東鈴ビル1F  
TEL. 03-3834-5307 FAX. 03-3834-5306 E-mail gem@serena.co.jp

serena